

## 句尾的「tte」的功能

深尾圓

國立高雄大學東語系副教授

### 摘要

本稿以分析日語語料庫及電視綜藝節目等談話資料的方式，對談話中以句尾的引用表現「tte」的句子的功能進行考察。將以句尾的「tte」的句子分為「引用，傳達」「和會話的推進相關」「表達說話者心理態度」三大類。接著再以用法細分歸類：「引用，傳達」有「轉達別人的話的用法」，「傳達說話者之前說過的話的用法」「傳達說話者想法的用法」三種。「和會話的推進相關」有「確認的用法」「結論用法」「展開會話的用法」「勸聽者發聲的用法」四種。「表達說話者心理態度」有「表現說話者強烈主張(強調)的用法」，「表現說話者感情和主張的用法」二種，並且對能使用「tte」的場面進行考察。

**關鍵詞：**引用表現，「tte」，句尾，談話，使用場面

# 「って」で終わる文について

深尾まどか

国立高雄大学東アジア言語学科准教授

## 要旨

本稿では日本語コーパスやテレビのバラエティ番組などの実際の談話資料を分析し、談話において引用表現「って」で終わる文がどのような働きをしているのかを考察した。「って」で終わる文を「情報を引用し、伝達する」「会話の運営に関わる」「話し手の心的態度を表す」という3つのグループに分類した。「情報を引用し、伝達するグループ」には、「人から聞いた話を伝える」「話し手が前に話したことを伝える」「話し手の考えや思いを伝える」という3つの用法があり、「会話の運営に関わるグループ」には、「確認する」「話をまとめる」「次の展開を尋ねる」「発言を促す」という4つの用法があり、そして、「話し手の心的態度を表すグループ」には、「話し手の強い主張を表現する（強調）」「話し手の感情や主張を表現する」という2つの用法がある。そして、「って」が使用される環境についても考察した。

**【キーワード】** 引用表現, 「って」, 文末, 談話, 使用環境

## **A Study on Sentences Ending with *Tte***

FUKAO, Madoka

Associate Professor of National University of Kaohsiung

### **Abstract**

In this paper the functions of sentences ending with the quotation particle *tte* in discourse were analyzed using data of Japanese Corpus and TV programs. Sentences ending with *tte* have three groups: telling a new information, managing and expanding conversations, expressing speaker's feelings and attitudes. The group of telling a new information has three usages: telling other's story, telling the story that a speaker told before, telling speaker's thoughts and ideas. The group of managing and expanding conversations has four usages: asking unclear part of speech, organizing a story, expanding conversation, urging listener's utterance. The group of expressing speaker's feelings and attitudes has two usages: emphasizing speaker's speech, expressing speaker's feelings and assertions. Situations that *tte* can be used are also examined.

**Key words:** quotation particle, *tte*, sentences ending with, discourse, situations

# 「って」で終わる文について

深尾まどか

国立高雄大学東アジア言語学科准教授

## 1. はじめに

本稿では次のような文末で使用される引用形式の「って」を考察する。

- (1) 鈴木君，結婚するって。(伝聞)
- (2) (納得できなければ) 絶対，聞いたほうがいいって。(強調)
- (3) (平山が苦勞して彫り完成させた東京切り子のグラスを見て) 有吉：親戚のババアんちにありそう。  
平山：ババアって！(抗議) (「おーい！ ひろいき村」フジテレビ)

「会話の中でよく聞かれる「って」は<引用>をその機能の中心としつつ，話し言葉の中で多様な役割を果たしている」(鈴木 2007)。文末の「って」には，既に先行研究で指摘されているように，様々な用法があるが，まだ明らかにされていない部分も少なくないと考えられる。本稿では，日本語コーパスやテレビのバラエティ番組など多くの談話資料を中心に調べ，「って」で終わる文がどのような働きをするのかを詳細に分析し，わかりやすく記述することを目的とする。先行研究の知見を踏まえ，「って」で終わる文の働きについてより広く，そして，一般性の高い記述を目指す。なお，本稿では次のように述部が先に提示される倒置の「って」は分析の対象としない。

- (4) 友達も言ってた。高校生が多いって。

## 2. 「って」の先行研究

文末の「って」の先行研究は，「って」の引用部分によって分類，分析するものと，「って」の意味機能や用法を分析，分類するものの大きく2つに分けられる。

「って」の引用部分によって分類，分析する先行研究には守時（1994），堀口（1995），岩男（2003）などがある。守時（1994:90）は，テレビ番組，小説，電話での会話の録音を基に，文末の「って」が前接する部分が既に述べられているか否かで大きく 2 つに分け，次にそれが誰の発話や記述によるものかによって，①話し手，②聞き手，③談話に参加しない第 3 者，メディアやテレビなど 3 つに下位分類している。そして，「って」は「話し手が，情報源となる情報を談話の参加者が適切に理解していないと推測し，時には対話の継続が困難であると考えた場合に使用される」（守時 1994:97）と述べている。堀口（1995）は，「～ッテ。」を「～」に引用された内容が現会話における発話か元会話における発話かという観点から大きく 2 つに分け，さらに前者を「相手の発話の引用」「自分の発話の引用」の 2 つに分け，後者を「現話し手・聞き手が元話し手・聞き手と同一の場合」「現話し手か聞き手の一方だけが元会話にいた場合」の 2 つに分け，さらに前者を 2 つに，後者を 4 つに下位分類し分析している。岩男（2003）は，引用文の元話者が（聞き手・話し手・第 3 者のうち）誰であるかにより「知識未定着用法」「押し付け用法」「表出用法」「伝聞的用法」の 4 つの用法に分類している。

「って」の意味機能や用法を分類，分析する先行研究には高橋（1993），許（1999），辻（2001），鈴木（2007），加藤（2010）などがある。高橋（1993:25）は，省略によってできた述語形式の 1 つとして引用助辞「って」のついた形で終わる文について，誰かがそう言ったというレーマ<sup>1</sup>につく形式になる場合と，「～というのは」の意味でテーマ作りの形式になる場合とがあると指摘し，次の 2 つの文を挙げている。（下線部引用者）

（5）俺たち，同じ災難にあう運命を持っているんだってサ。（阿刀田『禁猟区』）

（6）「籍を入れてよ」（中略）「籍って？」（阿刀田『粘土の女』）

---

<sup>1</sup> 「文の中で伝達の内容を表し，新情報や未知の情報をもつ部分。」（『大辞林第 3 版』）

許（1999:82-85）は文末の「って」をその表現する意味から「第3者の話を伝える」「相手に働きかける」「自分の考えを引用して説明する」という3つの用法に分類した。「相手に働きかける」用法には、「問い返し」「相手の話に反発する」「って」があり、「相手の話に反発する」「って」では相手を軽くなじるといった表現効果を持つ例や「って」によって自分の考えを主張（強調）する例について指摘している。加藤（2010）は、テレビ番組、ラジオ番組、オリジナルの会話資料などを対象にデータを集め、引用表現を談話において様々な機能を果たす存在ととらえ、「引用の基本形を表示する機能を果たすもの」「先行文脈の関連情報を談話内で追加するもの」「話者の情報伝達・受容に当たっての心的態度を表すもの」「情報の種類を明示しつつ情報の伝達に関わるもの」「発話意識の表明により発話境界を表示するもの」という5つに大きく分類し、さらに、「ッテ」を11種類の用法に下位分類している。鈴木（2007）は、「って」の機能について考察し、「伝聞」「自嘲」「説得」という3つの終助詞的用法の「って」について指摘している。また、辻（2001）は、「ッテ」と「ッテバ」の用法の意味機能における比較をしており、話し手の心的態度を表す「ッテ」を、発話を強く押し出す作用があり説得の発話態度の指標となる用法「ッテ1」と、発話をやわらげる作用があり説明の発話態度の指標となる用法「ッテ2」の2つに分類している。

以上、文末の「って」の先行研究を概観した。先行研究ではそれぞれの観点から「って」または「って」で終わる文が分析されており、それぞれ重要な指摘であると考えられる。高橋（1993:25）の引用助辞「って」のついた形で終わる文はレーマにつく形式になる場合と、「～というのは」の意味でテーマ作りの形式になる場合の2種類があるという指摘は非常に重要な指摘であり、本稿でも「って」で終わる文の中心的な機能であると考えている。そして、先行研究から、文末の「って」は、「第3者の話を伝える」「問い返し」「相手の話に反発する」「自分の考えを引用して説明する」という働きをし、そして、話し手の主張（強調）や話し手の感情を表現するなど談話

の中で様々な働きをしていることがわかった。「って」が話し手の様々な確信度（確信度 0 から断定 +  $\alpha$ ， $\alpha$  は話し手の主張や感情を表現する）を表現する文で使用されているという事実は興味深い。

本稿では、「って」で終わる文が談話の中で様々な働きをしているという点に注目し、「って」で終わる文を分析する。本稿では、引用部分の話者が話し手、聞き手、第 3 者のうち誰であるかによって「って」を分類する方法はとらない。この方法は、用法毎に「って」の引用部分の話者が話し手または聞き手などと 1 人に限定される場合には有効な分類方法であると考えられるが、実際はそうではなく、1 つの用法の中で引用部分の話者が例えば第 3 者と聞き手のどちらも可能である場合があり、最善の方法とは考えられないからである。これに関しては第 3 節で言及する。また、「って」は話し言葉で使用されることが多い語であるが、実際の談話を基に分析した先行研究は少ない。本稿では、日本語コーパスやテレビのバラエティ番組など多くの談話資料を中心にデータを分析し、談話の中で「って」で終わる文がどのような働きをしているかを分析し、詳細に記述する。

### 3. 「って」で終わる文の分類

前節で述べたように、本稿では、「って」で終わる文の中心的な機能は 1. 情報を引用し、伝達することと、2. 「～というのは」とテーマを提示することの 2 つである（高橋 1993:25）と考えている。そして、談話の中で文脈やイントネーション、声の調子などの助けを借り「って」で終わる文が様々な働きをするようになると考えている<sup>2</sup>。本稿では、「って」で終わる文を大きく 3 つに分類した。1 つ目は、「って」で終わる文の中心的な機能 1. を基本とするグループであり、「情報を引用し、伝達するグループ」とした。2 つ目は、「って」で終わる文の中心的な機能 1. または 2. を基に談話の中で別の働きをするようになったもので、「会話の運営に関わるグループ」とした。

---

<sup>2</sup> 「って」で引用される部分や前後の発話だけではなく、会話参加者の知識や話し手との関係なども関わってくる場合があると考えている。

例えば、機能 1. または 2. を基にし、「って」に上昇イントネーションを置くことにより「確認する」働きをするようになり、文脈により「話をまとめる」「次の展開を尋ねる」など会話を展開させる働きを持つようになる。3 つ目は、「って」で終わる文の中心的な機能 1. または 2. を基にイントネーションや文脈により話し手の何らかの感情や主張を表現することを目的とするもので、「話し手の心的態度を表すグループ」とした。

「って」がどのような働きをしているのかを詳細に記述し、必要に応じて「って」が使用される環境についても考察し言及した。各用例の末尾に出典を載せる。これ以降、特に記載のないものは LDC のコーパス CJS<sup>3</sup>からの用例である。CJS の用例は個人情報に配慮し、実名ではなく、[人名]などと記載する。また、用例中の（ ）内はあいづちを示す。

### 3. 1 情報を引用し、伝達するグループ

「情報を引用し、伝達するグループ」には、「人から聞いた話を伝える」「話し手が前に話したことを伝える」「話し手の考えや思いを伝える」という 3 つの用法がある。

#### 3. 1. 1 人から聞いた話を伝える用法

「他人の話を紹介する」(国立国語研究所 1951:74)、「伝聞」(田中 1973:229)、「第 3 者の話を伝える」(許 1999:82) など多くの先行研究で記述されている、文末の「って」の基本的な用法である。「～って言ってた」「～と聞いた」などの意味を持つ。

(7) (A が来なかったのは) 仕事が入って、忙しかったんだって。  
聞き手から以前聞いたことを伝える「って」が 1 例あった。

---

<sup>3</sup> [CALLHOME Japanese Speech (CJS) (1996)] CJS は Linguistic Data Consortium (LDC) が収集したデータである。電話による 120 の会話 (約 18 時間 40 分) が収められており、ほとんどの人が 北米から日本にいる家族や友人に電話をしている。LDC は、ペンシルバニア大学を中心とした、言語教育、研究、開発を支援するアメリカの研究機関である。(http://www.LDC.upenn.edu/)



(8) A:この前, [山の名], 登って来たの言ったっけな?

B:うん? うん, うん。最後まで登ったって。

また, この「って」は人から「聞いた話」だけではなく, 読んで得た情報を伝えるときにも使われることがある。

(9) (新聞を見ながら) 明日, 晴れるッテ。(守時 1994:93)

### 3. 1. 2 話し手が前に話したことを伝える用法

話し手が以前誰かに話したことを聞き手に伝えたり, 直前の発話の補足説明をしたりするときなどに使用される「って」である。「人から聞いた話を伝える」「って」とは異なり, この「って」は話し手が既に話したことを事実として伝える発話に使用される。「～と言った」「～と話した」「～と言ったんだけど」「～と言ったよ」などの意味を持つ。

(10) (B の話を聞いて)

A:でも, まあ始まったばかりじゃないのよ。〈笑〉

B:始まったばかりじゃないよ。何? この学校? だっ=

A:いやいや。このが=なん, 学年がまだ始まったばかりじゃないかって。

(11) (眼圧検査で) 眼科医: ちょっと目に空気が当たりますよ。

ボビー: (驚いて) お一何やってんだよ。

眼科医: いや, 目の中空気が当たりますよって。

ボビー: あー, ということか。(「駆け込みドクター! 視力を回復したい SP」TBS)

(12) (大地震の時, 電話を掛けたがつながらず。) そしたら, ああ, もうやっと向こうからかかって来たからね。(うん。うんうん。) ああ, あんた大丈夫だったってゆうから, ああ, 良かったって。

先行研究では, 辻 (2001:90-91) が先行する発話がまずあり, 補足説明ないし言い換えの発話で用いられる「って」について指摘している。(10) が直前の発話の補足説明をする発話で使用される「って」である。さらに, (11) のように, 「目の中空気が当たりますよ

って言いましたよ（言ったでしょう）。」と話し手が既に話したということ聞き手に認識させる意図で直前の言葉を繰り返す発話にも「って」が使用されていた。また、CJS では、(12) のように、話し手が以前誰かに話したことを聞き手に語る場面で、後ろの「～と言ったの」「～と言って」「～と言ったんだけど」が省略され「って」で終わる例が多く見られた。堀口（1995:21）では、(12) のような「って」を「現話し手か聞き手の一方だけが元会話にいた場合」で「現話し手が元会話で話し手であった場合」の「って」として分類している。

### 3. 1. 3 話し手の考えや思いを伝える用法

話し手の考えや感じたことを伝える「って」である（堀口 1995:16）。「～と思う」「～と思って」「～て思った」などの意味を持つ。許（1999:85）は「自分の考えを引用して説明する」「って」であり、「～と思って」を表す「って」の前には「かな」や「なあ」が現れる傾向があるようだと指摘している。確かに、「～なあって」「～かなあって」という発話が多く見られたが、他に話し手の思いや考えを表現する語句に「って」が付加される発話も見られた。

(13) (アメリカ人女性が) 日本に行ったら結構おっきいかなって。

(14) A: 帰って来たらいっぱい遊ぼうね。

B: ね、あたしも超あの＝

A: あたしね、もうめぐみしか遊ぶ人いないやって。

(15) (手術をして) これはもうやっぱ切るしかないって言うか、もうお任せしてな。(うん。) 切るしかないって。

(16) (店長代理の試験を受けた A が友人に面接のときの話をする。)

A: でもうちの地区ってそう、あんまりそういう店長代理とか、あんまり必要なさそうだから、(うん。) 受からないでしょうって。(ふーん。〈笑〉店長が?) 〈笑〉受からないでしょうとは言われなかったけど、多分は(うん。) 誰もならないなみたいな感じで。なん、なんだったら受けさせないでくれって。  
(笑) ふーん。)

次の「～って」は、話し手が聞き手やその他多数の人の考えを推測した発話で使用され、「～て思ってると思う」「～て思ってるのではないか」という意味を持つ。

- (17) (芸能人のチームが練習をして、綱引きの全国大会に参加するというテレビの企画で、芸能人チームが勝つと予想するゲストはいない。) ゲスト：勝って欲しいですね。結構実際の人たちの方が強いと思いますけど、勝って欲しいですね。  
有吉：なんか、皆、もうなんとなく、ほら頑張れよ。だけど、負けたんだろうって。(「おーい！ ひろいき村」フジテレビ)

### 3. 2 会話の運営に関わるグループ

「会話の運営に関わるグループ」には「確認する」「話をまとめる」「次の展開を尋ねる」「発言を促す」という4つの用法があり、会話を展開させる働きをしている。

#### 3. 2. 1 確認する用法

##### ① 問い返す

聞き手の発話を繰り返し、その発話の不確かな点について尋ねたり、確認する「って」である(国立国語研究所 1951:75, 許 1999:83)。「～って何?」「～というのはどういうこと?」などの意味を持つ。

- (18) (夜だけレストランで働くと言う A に) B: 大丈夫?

A: 大丈夫って?

##### ② 言い換える

聞き手の発話の不確かな点について、別の言葉で言い換えて、確認する「って」である。「～ってということ?」「～って言うの?」「～っていう意味?」という意味を持つ。(19) では、A は B の「えーと思ってさ」の「えー」という言葉の意味を「高い」か「安い」のどちらの意味なのか確認している。

- (19) (A がアメリカの郵便料金が安いという話をする。B は日本在住。) B: うん。でもさ、この間出した手紙さ、(うん。) 今、きのうの手紙も書いたけど 110 円だったもん。(うん。) だっ

=えーと思ってさ。あっ？

A:何，高いって？ 安いって？ 高いって？

③以前聞いたことを確認する

以前話し手が見たり，聞いたりした事柄を聞き手に確認する場面でも「って」が使用されていた。「～と聞いたけど」「～と聞いたんだけど本当？」「～って言ってたよね」などの意味を持つ。(21)では話し手が「って」で以前聞いた話をもとに話題を提示し聞き手に確認し，聞き手はそれに応えて関連する情報を提示している。

(20) え，テレビで見たんだけど。野菜がすごい高いんだって？

(21) A: (実家に) 9月5日に帰らないって？

B:9月16日。(ああ，16日ね，うん。) そんでね，9月16日の(うん。) あの夕方飛行機が着くんで(うん。) あの，そのまま私ね，あのもう新幹線で帰って来ようと思うの。

③の「って」に関して，堀口(1995:19)では「現話し手か聞き手の一方だけが元会話にいた場合」で「現話し手が元会話で聞き手であった場合」の「って」の例の1つとして分類している。

④話し手の予想したことを確認する

聞き手の話に続いて話し手が推測したことや理解したことを述べ，聞き手に確認する「って」である。「～って言ってた？」「～と言うの？」「～ということ？」などの意味を持つ。

(22) A:[地名]は別に問題なかった？

B:あっ，ああ，まあちょっとあったけど，

A:うるさいって，やっぱり？ / B:うん。

(23) (子供がバレンタインのカードをクラスで交換し，お互いに感謝を伝えたと話す A) A:ね，で，先生なんかにね，(うんうん。)持っていたりして。(先生にも?)大変よ。うん。(〈笑〉)先生なんかになんかなんにも持ってかないとね。〈笑〉(〈笑〉うんうん。)先生がね，

B:成績に響くって？ 〈笑〉

A:〈笑〉たりしてね，とか言って。まあそんな事はね，(〈笑〉)

無いはずだけどね、それにしてもね、やっぱり。

④の「って」に関して、先行研究では守時（1994:96）が「って」に聞き手が何を言いたいかわ推測して、その理解の妥当性の判断を聞き手に委ねる例があることを指摘している。加藤（2010:92-108）は「先行文脈の関連情報を談話内で追加するもの」として指摘している。

### 3. 2. 2 話をまとめる用法

#### ①話や考えをまとめる

話し手が説明したり、話をまとめたりする「って」である。「～っていうことだから」「～っていうことなんだ（けど）」「～っていうことになる」「～ということになって」などの意味を持つ。

(24) (通話時間は 30 分)

A: なんか寂しいじゃん。機械に勝手に切られちゃうの。

B: うん、だって、よく[人名 A]、あるじゃん、テレフォンカードで。

A: えっ、テレフォンカードはしょうがないじゃん。だって、それはお金が切れちゃうからって。

(25) (全然雨が降らないという話をする A)

B: え一何、8月に入ってから全然降らないんかい？

A: 降らない、全然。夕立ち=

B: ほんじゃ、俺が出てから全然雨降らない、降ってないって。

話し手が考えをまとめているときにも「って」が使用されていた。

(26) は、「これって」で少し考えて（ポーズがあり）、電卓の数字 5000 が 5000 万円だということに気が付いたという場面である。話し手の表現したいことは「これって、(…5000 万円ってことだよな。) 社長、すごいですね～！」ということである。

(26) (飛騨の温泉旅館で年間キャビアの売り上げが、と社長が電卓で 5000 という数字を見せる) 料理研究家: これって…。  
社長～! (「いきなり! 黄金伝説。」テレビ朝日)

#### ②話し手の予想を伝える

聞き手の話を聞いて、次の展開を予想して述べる「って」である。「～と言うんだ」「～と思うんだ」「～と思っているんだ」などの意味を持つ。

(27) (実家の母と夫が折り合いが悪いと話す A)

A: ああ、ほら、私なんか、キッチンの方で話してさ、キッチンの方でしてるから。(うんうんうん。) それでほらあの[人名 C]さん、ほら、キッチン来れないでしょ? (うんうん。) んで、あたしが行く時は、ほらね、お茶が入ったからおいでなんて感じで言うんだけど、うん。

B: うん。で、お母さんは?

A: うん、だから、

B: お母さんは呼ばなくてもいいって。

A: そういう感じで言うよね。うん。

(28) A: お母さん、米と柿少しやった。柿 10 個ぐらいしかやらなかったんだけど、(うん。) お茶 10 袋も送ってくれたんだよ。

B: 〈笑〉どうする? 飲みきれないよね。

A: 〈笑〉だから、友達にやったりしてんだけど、かえって(うん。) 高いものについて迷惑だったから、またもう少しまた柿が甘くなったから、干し柿

B: 送ろうかなって。

A: 干し柿と一緒に送ろうかな、なんか思ってたけどさ。

②に関して、先行研究では守時(1994:95)が「聞き手による発話をもとに、話し手がそれに類似したことを異なった表現で提示したり、聞き手に代わって結論を述べている」「って」があることを指摘している。加藤(2010:92-108)は「先行文脈の関連情報を談話内で追加するもの」として指摘している。

### 3. 2. 3 次の展開を尋ねる用法

次の展開を尋ねたり、関連する情報を尋ねたりする「って」である。「～って言ってた?」「～って言うの?」などの意味を持つ。

(29) A: そいで、なんか[人名]も行ったらしいよ。

B:おお。で、どうだったって？

(30) A:うん。うん。そう。じゃ、お母さん来るつもりでいるみたい、本当に？

B:うん。行くみたいよ。

A:あつ、本当。[人名]ちゃんも来るって？

(29) (30) は、聞き手の発話を受けて、次の展開を尋ねていたが、(31) は、話し手が話題を提示し、その内容に関して聞き手に尋ねている例である。

(31) 咲: ねえ、電話、お母さんからでしょう。/ 久司: そうだよ。

咲: なんだって？ (『青春家族』NHK, 堀口 1995:22<sup>4</sup>)

(32) は、直前の部分が言語化されていない「って」である。診察室から出てきた娘に医者 of 診断について聞く母親の発話に「って」が使用されている。

(32) 母: 何だって？

亜紀: 単なる疲れだって。ちょっと貧血もあるかもって。

(『世界の中心で、愛を叫ぶ』TBS, 加藤 2010:215<sup>5</sup>)

### 3. 2. 4 聞き手の発言を促す用法

聞き手に話をするように促したり、次の手順を説明する「って」である。「～って言いなさい」「～と言って」「～と言うの」などの意味を持つ。

(33) (父親からの電話に口数の少ない子供に、そばから母親が) 早く帰って来てねって。

(34) (日本語の教え方をいろいろ説明する A。)

A: やっぱり歌をいっぱい仕入れておいた方がいいからね。

(うん。) 後、カードを作っておくといいよ。「あいうえお」

<sup>4</sup> 堀口 (1995:22) は、「現話し手か聞き手の一方だけが元会話にいた場合」で「現聞き手が元会話で聞き手であった場合」の「って」としてこの例を挙げている。

<sup>5</sup> 加藤 (2010:215) は、「情報の種類を明示しつつ情報の伝達に関わるもの」の「伝言取次ぎ用法」の例の 1 つとしてこの例を挙げている。

のカードとかさ。(そうだね。) うん。(ふーん。) で、カードを見せながらこれはりんご,(うん。) りんごよって。で、「あ」で始まる物は、例えば「あめ」とかさ。(うん。そうだね。) うん。「あ」の横に「あめ」の絵を書いておいたりね。

先行研究では、「保護者と、言語を話す前の幼児のコミュニケーションにおいて観察される」(加藤 2010:163) 例として言及されている。次の例は知人に別れ際に挨拶をするように促すような場合に観察されるという。

(35) ほら、バイバイって。バイバーイって。(加藤 2010:163)

確かに母親から子供に向けてこの「って」が発話されることが多いと思われるが、聞き手は必ずしも言語を話す前の幼児に限定されるわけではない。以前、テレビ番組でこんなシーンがあった。

(36) (告白を決意したが、彼女を前にして何も言えない兄に)

妹：お兄ちゃん、早く、好きって。好きですって

この「って」は「電話での会話(受話器に向かって何か話すべきだという状況)」「好きな女の子に今告白をするべきだという状況」「次の手順を説明するという状況」があって成立する発話であり、文脈依存性が特に高いと考えられる「って」である。

### 3. 3 話し手の心的態度を表すグループ

「話し手の心的態度を表すグループ」には「話し手の強い主張を表現する(強調)」「話し手の感情や主張を表現する」という2種類の用法がある。

#### 3. 3. 1 話し手の強い主張を表現する(強調)用法

話し手の強い主張を表現する「って」である。「って」を付加することによって話し手の主張が強められるものを言う。「～って言ってるでしょう」「～って言ったでしょう」「～って言いたい!」などの意味を持つ。

(37) (歌手SとTの不仲説を検証するVTRで、Sのトークでは、全く笑わないTというナレーションに) T: これ違うって。



悪意があるよね。（「櫻井・有吉 THE 夜会」TBS）

話し手の主張を表現する（強調）「って」に関して、守時（1994）、許（1999）、辻（2001）、加藤（2010）では詳しい分析がされている。順に紹介し、これらの先行研究の知見を踏まえ、「って」がどのような環境で使用されるかについて考察する。

守時（1994:91-95）は、この「って」は<sup>6</sup>、話し手が提示した情報を聞き手が受け入れていないと感じられる場合に、同じ情報を「って」でマークして提示する用法であると指摘している。そして、「話し手の強い主張が感じられるもの」であり、「自分の発話を何とか聞き手に聞き入れてもらおうと発話するような場面での用法である」と述べている。

次に、許（1999:85）は、「相手の話に反発する」「って」<sup>7</sup>は「話し手と聞き手の理解に差があるときに、聞き手の以前の話を用いる、あるいは話し手の考えを主張することによって、聞き手の言ったことに反発するときに使われると考えられる」と述べている。さらに、加藤（2010:121）は、この「って」を「常に話者の発話時の苛立った心情、つまり話者の否定的な心的態度を伝達するものである」と述べている。

そして、辻（2001:82-83）は、「発言を強める」機能を持つ「～ッテ 1」について、「～」部の思念が話し手の心の中で確立し、聞き手

---

<sup>6</sup> 守時（1994）では、いくつかの興味深い「って」の例が報告されているのであるが、意味機能による分類はされておらず、この「って」に関しては、「「～」が既に述べられており、話し手の発話が情報源である場合」と「「～」は述べられていないが、話し手の発話が情報源であると推定される場合」の2つに分類されている。

<sup>7</sup> 許（1999:84-85）は「相手の話に反発する」「って」に、「相手の以前の話を用いて、現在の話との矛盾を指摘する」ときに使われる例と相手の意見が自分の意見と違っているため、あるいは自分の意見を認めてもらいたいため、「って」により自分の考えを主張（強調）して、相手を自分の方に引き寄せるように働きかけている例の2種類の「って」を挙げている。本稿では後者の「って」を「話し手の強い主張を表現する（強調）」用法の「って」として考えている。

が関連する前提知識を持っていることが明白だという場合には使用することができると指摘し、次の例<sup>8</sup>を挙げている。

(38) 1A: 太郎, そろそろテレビゲームおしまいにしなさいよ

2B: うん [太郎はテレビゲームをやめない]

3A: ねえ, もういい加減やめなさいッテ

4B: わかってるッテ (下線引用者。以下同じ。)

ただし、聞き手にとって新情報であることが予想されても談話の応答部にたつ (39) ~ (41) のような場合には「~ッテ 1」が使用できると述べ、「これらは話し手に属し聞き手に属さない情報、いわゆる話し手のなわばり (神尾 1990:22-33) にある情報であり、話し手にとって自明であるか、判断や意志決定はすでに済み確定している」と指摘している。また、この場合、「「~」部の内容を聞き手に一方的に伝え聞き手の疑念や反論を封じる形で当該の話題をめぐるやり取りの終結をもたらす」 (辻 2001:84-85) と述べている。

(39) [反ばく] A: お前, 誰にも言わないって約束したのに, あのこ  
としゃべっただろう? みんな知ってたぞ。

B: おれ, しゃべってないッテ。何かの間違いだよ

(40) [確信の表明] A: 彼は無実だろうか?

B: 彼は絶対無実だッテ。誰がなんと言おうと俺は信じてるよ

(41) [意志の表明] A: 原稿, 本当に今日中に仕上がるかい?

B: 大丈夫, 今日の夕方までには絶対仕上げるッテ

しかし、「話し手の主張を表現する (強調)」「って」は「聞き手の言ったことに反発するとき」 (許 1999:85) だけに使用されたり、「常に話者の発話時の苛立った心情、つまり話者の否定的な心的態度を伝達する」 (加藤 2010:121) とは限らないようだ。(42) は、話し手である A が映画に対する強い思いを夢中で聞き手である B に話している例である。この「って」には「話者の否定的な心的態度」は感じられない。

---

<sup>8</sup> 辻 (2001) の例文中では「ッテ」と同時に「ッテバ」も考察されていたが、本稿では「ッテバ」は議論しないため引用にあたり「ッテバ」を削除した。

(42) A: いやもうまじでいいって。私今まで見た中で一番いいもん。(ああ, そう。) うん。(中略) いや, もうまじで面白いって。(へえー。) かなり面白い, あれは。(へえー。) だから, お母さんもお婆ちゃんも連れてって。

B: うん, うん, 行く行く。

次の(43)では, 話し手であるAは「[人名 B]もいるって, 絶対」とアメリカに来たら「Bも車が必要だ」ということを穏やかな口調で話しており, 苛立ちは感じられない。また, Bは特に反論しておらず「話し手が提示した情報を聞き手が受け入れていないと感じられる場合」(守時 1994:91-94)にも当てはまらないと思われる。そして, 「わかってるって」と「聞き手の言ったことに反発する」(許 1995:84)のではなく, 逆にAは「Bもアメリカに来たら車が必要だ」ということに関してBとの間に同じ意識が共有できるだろうという思いで「[人名 B]もいるって, 絶対」と「って」を使い主張していると考えられる。

(43) A: (自分の車の話をした後, アメリカに) もし[人名 B]来たら, 車, 買おうね。

B: もう一台?

A: うん。[人名 B]もいるって, 絶対。

B: いるよ。

A: 運転したくなかったらいいけど。

B: ううん, したいよ。

A: うん, だから, 絶対車いるんだって。

また, 「聞き手が関連する前提知識を持っている場合」(辻 2001:83)ではなくても, 話し手が「って」を使用できる場合がある。次の(44)では, ドローン(無人飛行機)にカメラを搭載し, 上空からカナダの湖の岸辺で手を振る常田を撮影する場面であり, 男たちは常田から離れた場所でドローンを操縦しているという状況である。

(44) (ドローンが常田から移動し, カメラが湖の全体を映し出す。)

(隣の男に向かって) 男: 常田, 真面目だからまだ手を振って

るぞ。(数秒後) 常田, もう手を振らなくていいって! (「陸海空 こんな時間に地球征服するなんて」テレビ朝日)

ドローンが岸から離れても指示された通り手を振り続ける常田に対して「もう手を振らなくていいって!」と「って」が使用されている。その前の「常田, 真面目だからまだ手を振ってるぞ」という発話は隣にいる別の男に向けられており, 常田には向けられていない。つまり, 聞き手である常田にとって「手をもう振らなくてもいい」という指示はこのとき初めて言われたことであり, この「って」には聞き手の前提知識は必要とされていない。

次の例はツイッターからであるが, サッカーW 杯で, 「サポーター半端ないって (すごいって!)」と不特定多数の閲覧者に対して強い主張を伝えている例である。試合を見ていない人のために, 観客席のサポーターがシュートをヘディングで返すときの場면을撮った動画がアップされており, この「って」にも聞き手の前提知識は必要とされていない。

(45) ゴール裏サポーター半端ないって。あの人半端ないって。

セネガルのシュートをヘディングで返すもん。そんなんできひんやん普通 (全文) (<pic. twitter.com/FFbns8V7bR>2018年6月25日)

以上, 「話し手の主張を表現する (強調)」「って」は, 「常に話者の否定的な心的態度を伝達する」わけではなく, 「聞き手の前提知識」は必ずしも必要とされないことから, 「話し手にとって当然だと思えること, または, 信じていることが, 相手<sup>9</sup>の認識では一定レベルに達していないと話し手が感じるときには, 使用することができる」と言える。

---

<sup>9</sup> ここで言う「相手」は聞き手以外にも, 直接その場にはいない人物である場合がある。ドラマで次のようなシーンがあった。

i) (居酒屋で同僚と飲みながら上司のことを話す) あんなにあれこれ言わなくたってわかってるって。まったく部下を信用してないんだから。

### 3. 3. 2 話し手の感情や主張を表現する用法

「って」で終わる文は「驚きや意外な気持ち」「聞き手の注意を向ける」「不満，非難，抗議」「冗談ぽくする」「おかしい気持ち」など様々な感情や主張を表現している。

#### ①驚きや意外な気持ち

話し手の驚きや意外な気持ちを表す発話に付加される「って」であるが，否定的な反応だけではなく，おもしろいやうれしいなどプラスの意味で驚いたときに「って」が使用されている例も観察された。(48)は，テレビの企画でボロボロの家を1か月かけて改造し，きれいになった家を家主にお披露目するという場面である。改造してきれいになった家に入るときに家主が「おじゃまします」と言ったのを聞いて，前川の驚きとともに家がきれいになったことを評価されたといううれしさの感じられる発話となっている。

(46) (大学入試で提出する書類に記入する資格が，中学時代にとった英検ぐらいしかないと言う A)

B: だから，それ持ってるっていうんで書いちゃいな。うん。

A: 持ってるって? そんな5, 6年前の。

(47) (孫からその父親 A がゲームしていると聞かされ) うん? 何?

[人名 A] は何してるって? ゲームしてるって! 〈笑〉

(48) 家主: (玄関口で) おじゃまします。

前川: おじゃましますって。(「いきなり! 黄金伝説。」テレビ朝日)

#### ②聞き手の注意を向ける

(49) (50) は，聞き手の注意をひく目的で「って」で状況を描写したり，発話を引用する例である。テレビ番組からの例である。(49)は，突然初対面の人から，料理を「一口頂戴」と言われたら，人はあげるのかを観察するコーナーで，吉田が調子に乗って，男性客に1口アーンと食べさせてもらった直後に，その男性客がおしぼりで箸を拭いた場面をすかさず見つけた春菜が言った言葉である。「箸をおしぼりで今，チョン，チョン，チョンってした(拭いた)！」とい

う意味である。

(49) 春菜：箸，チョン，チョン，チョンって。(「ニンゲン観察！  
モニタリング」TBS)

次の例は制限時間内に梅沢の指示で A 夫人が料理を作るという番組で，1 分前と言われ慌てた A 夫人が言い間違えた言葉を，2 人のやり取りを聞いていた淳が，取り上げたという場面である。「今，スイヤセーンって言った！」という意味である。

(50) 梅沢：それで，箸とそれを両方使ってお皿の上に置いてください。夫人，1 分前ですからね，急いでください。

A 夫人：わー。スイヤセーン。

梅沢：いえいえ，大丈夫ですよ。

淳：今，スイヤセーンって，今。後輩みたい。(「スパモク!!  
「注文の多い料理人」」TBS)

### ③不満，非難，抗議

話し手の不満や非難，軽い抗議などを表す「って」である。(51) は「コンビが組めるっていうのは違うだろう」という不満，そして，(52) は「太ったほうって何なんですか」「太ったほうっていうのは，ひどいでしょう」という軽い抗議が表現されている。

(51) (前出の料理対決の番組で，前回，A 夫人にさんざん振り回され，夫人とコンビを組みたくない梅沢。その後，夫人が登場。) 淳：今，一番相性が良いとされてる。

梅沢：勘弁してくれよ。

淳：A 夫人とまたコンビが組めるということで。

梅沢：またコンビが組めるって。(「スパモク!!『注文の多い料理人』」TBS)」

(52) (前出のモニタリングの番組で，スタジオで出演者は春菜が出ている VTR を見る。春菜はコンビで活躍する芸人。)

ナレーション：ターゲットはこちらの女性。(中略) 早速お店へと向かう春菜。春菜が一口頂戴とお願いしたら，こちらの女性はどんな反応をするのか。

(そば屋で) 春菜：お腹すいた。お腹すいた。

ナレーション：わざとらしく声を出し，自分が人気芸能人だとアピールするハリセンボンの太ったほう。

(スタジオから) 春菜：太ったほうって！(「ニンゲン観察！モニタリング」TBS)

(53) は，驚きとともに残念だという話し手の気持ちが表現されている発話である。テレビ番組の次々と流れてくる流行歌のイントロ部分をギターで正確に弾くというコンテストで，A が何曲かを正確に弾いた後，その次の曲で間違え失敗してしまうという場面で，同じバンドの村上の発話である。

(53) 村上：よりによって，マッチさんって！

「よりによって，マッチさんって！」には，「よりによって，ジャニーズの先輩のマッチさんの曲で弾き間違えるというのは，なんでなんだ！」という驚きが，そして，A を応援していたからこそ，先輩のマッチさんの曲で弾き間違えるなんて残念だという村上の強い気持ちが表現されている。

そして，次の例は「知恵袋」というインターネット上の相談に対する回答の投書からの例であるが，興味深い例であると思われるので引用する。夫の両親が孫がかわいいあまりする諸々のことに対して困っており，前日も泣き叫ぶ 6 カ月の息子を庭に連れて行きブランコに乗せ，ずっと写真を撮っていたという相談の投書に対する回答である。

(54) ブランコ事件 (!?) は結構ひどいと思いますよ。腰が座っていない子を無理に乗らせる物じゃないです！(歩行器だってあまりよくないと聞くぐらいなのに，ブランコって…) (2013 年 3 月 21 日)

<[https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q14104170499?](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q14104170499?)>

回答者は「歩行器だってあまりよくないと聞くぐらいなのに，ブランコってひどいですよね」「ブランコなんて考えられませんよね」

というあきれた気持ちや非難の気持ちを「歩行器だってあまりよくないと聞くぐらいなのに、ブランコって…」で伝えていると考えられる。この回答者は第 3 者（相談者の夫の両親）に対して非難の気持ちを表現することにより、相談者の心配を理解できること、相談者への共感を伝えていると言える。

#### ④冗談ぼくする

発話を冗談ぼくする「って」である。(55) は、「って」がないと、「また同じ曲？」と話し手のあきれた気持ちが入る発話になるが、「って」があるため冗談ぽいニュアンスが加わる発話となっている。

(55) (小学生の女の子に) A: うん。で、ピアノを教えてあげたら喜んじゃってさあ。(うん。) うん。もう弾けるようになったのよ、[曲名]。

B: 〈笑〉またそれって。

(56) (A の祖母がアメリカに電話をしたが、通じず、1 分ぐらいずっと孫の名前を言っていたという話を聞いて)

B: 〈笑〉超受けるね。〈笑〉

A: 受けるやろ。〈笑〉でも、お婆ちゃん、結構ね、恐れを知らず掛けたがるぞって。普通に。

#### ⑤おかしい気持ち

話し手のおかしいという気持ちを表現する「って」である。

(57) (ライブのオファーが来たというドッキリで台湾へ行った狩野が、ドッキリだと知らずに偽テレビ局である「飲茶テレビ」にインタビューをされる。ゲストの安藤はその様子を撮った VTR をスタジオで見る。) 安藤: 飲茶テレビって。〈笑〉  
(「金曜★ロンドンハーツ」テレビ朝日)

(58) (A, B の友人 C の話題。A は C にスノーボードに行くからと言われお金を貸した。A は C がスノーボードが「すごいね」と言われて調子に乗っていると話す。)

A: そう。で、私が、私もスキーに行ったんだとか言ったら、「スキー？」とか言って。「もうそんなの遅いよ、お姉さん。」



(〈笑〉人に金借りて。)「スノーボードだよ」って。〈笑〉

B: 〈笑〉ば=馬鹿チンだね。

話し手の心的態度を表す「って」に関して、先行研究では次のように指摘されている。まず、岩男（2003:150）は、聞き手の発話の真意や妥当性等に対して「理解できない」「非難する」といった気持ちを表す「って」について指摘している。そして、(59)の場合は「重要な話題であるにも関わらず気楽に「別れたよ」と言っている聞き手の態度に対する「非難」であると言えるだろう」と述べ、(59)のように、引用文の発話が直前の聞き手のものである場合の用法を「知識未定着用法」<sup>10</sup>と仮称するとしている。

(59) 安田「あいつとは卒業してすぐ別れたよ」

小澤「別れたよッテ…」(岩男 2003:150)

加藤（2010:127-128）は、「話者の情報伝達・受容に当たっての心的態度を表すもの」「意外感表示用法」の「って」として、情報に対して「意外だ」「腹立たしい」「非難」等の話者の否定的心情を表出するものについて指摘している。

先行研究で指摘されているように、受容した情報が理解できない、自分の知識としては受け入れられないという驚きや意外感から、この「って」は話し手の否定的な感情や評価を表すようになった（加藤 2010:124-128, 岩男 2003:150-152）と考えられる。さらに、(47) (48) では、否定的な反応や評価に限らず、相手の言動や反応が自分の考えていたこととは違い、おもしろいやうれしいなどプラスの意味で驚いたり意外だと感じたときにも「って」は使用されることを見た。

次に、Suzuki（1998:448）は、「ふざけて言う(playfulness)」「って」があり、フェイスを脅かすような発話を「って」で冗談ぽくし、予想される気まずい状況を回避すると述べている。鈴木（2007:38-39）では「自嘲」の「って」が指摘されている。

---

<sup>10</sup> 岩男（2003:150）は「知識未定着用法」に、「問い返し」の例も含めて分類している。

(60) A: 首になった人がいるようなニュアンスで…。

B: それはあなたですって。(playfulness) (Suzuki1998:448)

(61) マサコ: もう一回行ったからドライブには自信もついているし、って。(自嘲)

カナ: 危ないなあ (笑)。だってマサコ, サンフランシスコに入ると, 性格変わんだもん。(鈴木 2007:38-39)

「冗談ぽくする」「って」は, 自嘲や聞き手のフェイスを脅かすような状況ではなくても使用される場合があることは (55) (56) で見た。

「って」で終わる文が「驚きや意外な気持ち」「不満, 非難, 抗議」「冗談ぽいニュアンス」「おかしい気持ち」など話し手の様々な感情や主張を表現していることを見てきた。「って」がこのように様々な心的態度を表す発話に使われる理由に関して本稿では次のように考えている。引用標識である「って」を使用して, 引用部をカギ括弧でくくる<sup>11</sup>ことによって, 「ここに注目して」と聞き手の注意を向け, そして, イントネーションや文脈により引用部分に対する話し手の様々な感情や思いなどを表現しているのではないかと思われる。

### 3. 4 その他の「って」

「って」の後ろに「言う」「聞く」「思う」以外の動詞が省略されている例である。(62) では, 文脈から, 「こんなもんかなってわかるから」という意味になる。

(62) (A は英語の絵本を買って B に送ったと話す。「難しい, その絵本?」と聞かれ)

A: 絵本やからね。(うん。) うん。で, まあ, 面白いなと思ったら自分で (うん。) 辞書引いてみたら。辞書引いたら意味が載っているから。(へえ!) うん。で, こんなもんかな

<sup>11</sup> 「って」は 2 モーラという短い語であるが, 第 1 音が促音であり, 1 音分ポーズがあり次に「て」が発音されるため, 引用部に聞き手の注意を向けやすいのではないかと思われる。

って。みんな[人名 B]とかが知ってるやつやから。

また、話し手の不確かな知識を伝える「って」があった。次のように人から聞いた話を伝え、聞き手に新しい情報を伝えている発話であるが、話し手が 100 パーセント信用していない、もしくは自信があまりないという発話である。これらは上昇調のイントネーションで話されており、明らかに他の「人から聞いた話を伝える」発話とは異なる。3 例のみなので、今回は分類をせずに言及だけしておく。

(63) (近距離のため、タクシーで嫌な経験をしたと話す A。)

A: タクシーの人が一番運転して行きたくない地域なんだって。

(中略) タクシーの運転手さんが待っていた所は、4 時間ぐらい待ってやっと 1 人のお客さんを捕まえられるんだって?

(64) (A は今住んでいる町について話す。B はその町について知識がない。) A: で、そんな不便ではないね。車が、で行けば。

B: 映画館とかは?

A: 映画館も 20 分ぐらいで行けるし、なんか有名なシンフォニー楽団があるんだって? それも、ダウンタウンとかにあって、(ふーん。)美術館とかも全部ダウンタウンにあるみたい。だからそう 2, 30 分ぐらいですぐ行かれる。

#### 4. 「って」で終わる文と話し手の発話意図

第 3 節では「って」が談話の中で様々な働きをしていることを観察した。第 4 節では、「って」で終わる文と話し手の発話意図に関して考えたい。まず、「情報を引用し、伝達する」「って」には、聞き手に情報を提示し、情報を共有化するという発話意図がある。次に、「会話の運営に関わる」「って」では、話し手は、聞き手との間に「共通の理解を築くために」<sup>12</sup> (加藤 2010:109) 「って」を使用し、また、

<sup>12</sup> 加藤 (2010:109-111) は、「先行文脈の関連情報を談話内で追加するもの」のうち、「帰結確認用法」「精緻化情報確認用法」について、情報を確認するということは、話し手・聞き手の間に共通の理解を構築していく上で重要なことであると指摘している。

「って」で終わる文により会話をスムーズに進め、積極的に会話に参加していることを示していると考えられる。

「話し手の心的態度を表す」「って」は、「驚きや意外な気持ち」「不満、非難、抗議」「冗談ぽいニュアンス」「おかしい気持ち」など話し手の様々な感情や主張を表現していた。そして、これらの発話に共通する「って」の意味は、聞き手の注意を向けることにあると述べた。これらの「って」には、話し手の今現在の感情、主張を伝え、そして、それを聞き手と共感したい、または、わかってもらいたいという発話意図があるのではないかと考えている。まず、「おかしい気持ち」を表す「って」は、「おもしろい」「おかしい」と思ったことを聞き手と共有し、共感したいという話し手の意図があると考えられる。「冗談ぽくする」「って」も同じように、冗談を言い聞き手と一緒に笑いたい、つまり、共感したいという話し手の意図があると考えられる。そして、「不満、非難、抗議」を表す「って」に関しては、次の(65)は「知恵袋」の例であるが、話し手の発話意図を考える上でわかりやすい例だと思われるので引用する。

- (65) (修正液で年号などが消された年賀状が届き) しかし、なんで消されているのか気になり、カッターで削ってみたら,,,. 去年の年賀ハガキだったんです。40 年近く生きてますが、初めてです。修正液だらけもどうかと思うのに、去年のハガキって, , , 。差出人は[人物]でした。こんなに非常識な方々とは、この先関わりたくないです。と思うのは、私だけでしょうか? (2013 年 1 月 4 日)

<[https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q1299724072?fr=top\\_mantenna](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1299724072?fr=top_mantenna)>

(65) では、質問者は「去年のハガキって、ひどいでしょう」「去年のハガキって、ひどくないですか」というあきれた気持ちや怒りを「去年のハガキって…。」で不特定多数の閲覧者に伝えている。自分の怒りを多数の閲覧者の中の誰かにわかてもらいたい、わかてもらえるのではないかという気持ちが「去年のハガキって…。」

に込められていると思われるのである。同じように、第 3 節で見た (52) の例も、「太ったほうっていうのは、ひどいでしょう」という不満が軽い抗議として「太ったほうって！」で表現されていたが、これも話し手はナレーターやスタジオの芸能人、そして、テレビの前の多くの視聴者と同じ気持ちが共有できるのではという意図で発話されていたと考えられる。(53) も、「先輩のマッチさんの曲で弾き間違えるなんて残念すぎる」という気持ちが、Aを含め、スタジオの人たちやテレビの前の視聴者と共有できるものとして、「よりによって、マッチさんって！」に表現されていたと考えられる。また、(59) の例 (岩男 2003:150) では、「別れたよッテ…」が驚きではなく、聞き手を非難するといった気持ちを表している場合、「普通に考えて、簡単に別れたよっていうのはおかしいでしょう」という話し手の気持ちが理解できるだろうという発話意図があるのではないかと思われるのである。

## 5. おわりに

本稿では、談話において「って」で終わる文が持つ働きについて考察した。「って」で終わる文は引用し、伝達する働きだけではなく、「確認する」「話をまとめる」「次の展開を尋ねる」「聞き手の発言を促す」など会話の運営に関わる働きをし、そして、話し手の主張を強めたり、様々な感情や主張を表現するなど談話の中で重要な働きをしていることを確認した。そして、話し手の心的態度を表す「って」で終わる文には、単に話し手の感情や主張を表現するだけではなく、聞き手や第 3 者と共感したい、わかってもらいたいという発話意図を持つ場合があることを観察した。

「って」で終わる文は、省略によってできた述語形式 (高橋 1993:25) であり、引用という機能を残しつつ、「って」以下の部分が省略され身軽になった「って」は、だからこそ様々な場面で「会話をテンポ良く」(加藤 2010:206)、そして、スムーズに進める役割を担い、日本語の会話で多用されるようになったのではないかと思

われる。「って」で終わる文の理解には文脈とともにイントネーションも大きく関わっていると考えられる。イントネーションの分析に関しては別稿で考察したいと考えている。

## 参考文献

- 岩男考哲 (2003) 「引用文の性質から見た発話「～ッテ。」について」『日本語文法』3-2, 146-162
- 加藤陽子 (2010) 『話し言葉における引用表現－引用標識に注目して－』くろしお出版社
- 神尾昭雄 (1990) 『情報のなわ張り理論』大修館書店
- 国立国語研究所 (1951) 『現代語の助詞・助動詞－用法と実例－』秀英出版
- 許夏玲 (1999) 「文末の「って」の意味と談話機能」『日本語教育』101, 81-90
- 鈴木亮子 (2007) 「他人の発話を引用する形式」『言語』36-3, 36-43 大修館書店
- 高橋太郎 (1993) 「省略によってできた述語形式」『日本語学』12-9, 18-26 明治書院
- 田中章夫 (1973) 「終助詞と間投助詞」『品詞別日本文法講座9 助詞』209-247 明治書院
- 辻加代子 (2001) 「東京方言「ッテ」と「ッテバ」の用法について－文末詞的用法を中心に－」『阪大社会言語学研究ノート』3, 77-93
- 守時なぎさ (1994) 「話し言葉における文末表現「ッテ」について」『筑波応用言語学研究』1, 87-99
- 堀口純子 (1995) 「会話における引用の「～ッテ」による終結について」『日本語教育』85, 12-24
- Suzuki, Satoko (1998) Tte and nante: Markers of psychological distance in Japanese conversation. *Journal of Pragmatics*.29, 429-462
- 謝辞 本稿は、2015 年度科技部專題研究 (MOST 104-2410-H-390-017-) の研究成果の一部である。